

# 内之浦漁港漁港施設機能強化設計委託

発注者 大隅地域振興局

実施年度 平成27年度

## 業務の目的及び概要

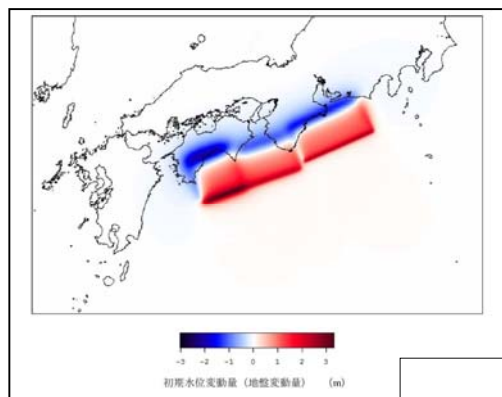
本業務は、内之浦漁港を対象とした津波シミュレーションを実施し、既存施設(-4m岸壁)の耐震・耐津波に対する機能診断および強化対策の検討を実施した。

## 業務実施主要項目

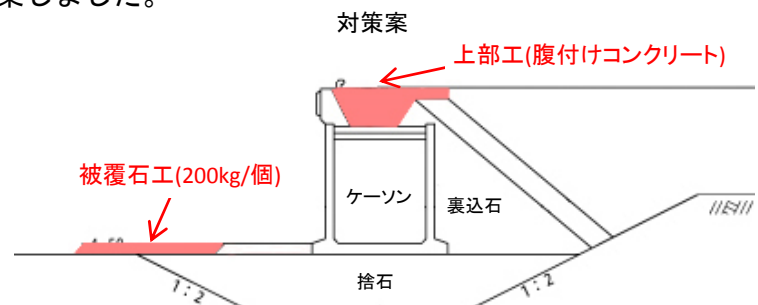
L1津波の選定	津波シミュレーションの対象とするL1津波を選定します。
津波シミュレーション	津波発生から陸上への遡上にいたる伝搬過程をシミュレーションし、津波の水位、浸水する範囲、流速などを算出します。
岸壁および防波堤の安定性照査	想定津波における既存岸壁、防波堤の安定性を確認します。
機能診断および対策断面検討	既存岸壁の津波に対する機能評価を行い、不足する場合は対策工を検討します。

## 技術的ポイント

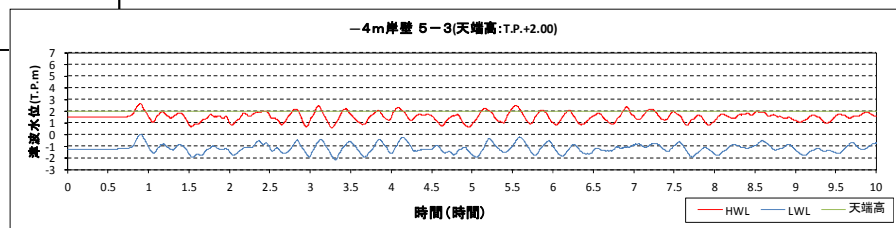
- ① 津波シミュレーションに利用する地形データを資料や既存図面から作成します。より高精度なデータとするために現地調査による現況確認を行いました。
- ② 過去の地震から対象となる津波(1605年慶長地震津波)を設定してシミュレーションを実施しました。
- ③ 「平成23年度東日本大震災を踏まえた漁港施設の地震・津波対策の基本的な考え方」に基づき、東日本大震災を踏まえた津波に対する構造物安定性照査を行いました。
- ④ L1津波および波浪に対して、-4.0m岸壁の対津波機能診断・強化対策の検討を実施し、上部工および被覆石工の改良を提案しました。



水位変動量分布図



津波発生時の水位の変化



## 津波の定義

レベル1津波(L1) : 100年で1回程度の発生確率→人命・財産・経済活動を守る「防災」

レベル2津波(L2) : 1000年に1回程度の発生確率→人命守るが財産・経済損失は軽減「減災」